

# 山行報告書

日時	2018年10月13日(土)		天候	晴れ
山名	2018年度集中山行 津和戸山			
CL	秋山	参加者	T田、N川、H田	
(コース)	10/13 9:15津和戸山駐車場9:30・・・10:08大師像・3番・・・10:06針ノ耳・・・11:35水月寺奥院 11:45・・・11:53津和戸山(展望所)12:28・・・13:09 88番・・・13:30駐車場			
(コメント)	<p>今回は集中山行と言うことで、3チームに分かれての山行になりました。私たちのチームは、リーダーA山さん、H田さん、T田さん、N川4人のおっさんだけのチームです。初めての国東半島の山ですが、地図で見ると低い山ばかりで、最初は少なめてました。津波戸山登山口に着いたのは9時過ぎ、A山さんが車をぶっ飛ばして意外と早く到着しました。ちゃんと駐車場も整備されており、のどかな田園地帯です。9時半頃出発。なだらかな坂道に入って行きます。途中看板に(津波戸弘法大師八十八ヶ所霊場巡拝道 案内図)説明と簡単な地図が書かれておりそれを各々撮影しました。その先の石碑には(津波戸山新四国八十八ヶ所改修記念碑)と書かれており何のことかわかりません。お寺の後の石垣を通り抜けるとついに鎖場が現れましたが、そっちには行かず直進すると地藏が現れます。その地藏の下には一番、二番と順路を示す番号が振られていて解りやすい。一時間ほど歩くと景色は一変し、ほとんど手を使わなくては上れない岩の斜面、鎖場、その稜線の突端には必ず趣のあるお地藏さんが鎮座しています。無名橋もありましたが怖くて誰も渡りません。そこから少し進むと突端にお地藏さん、その先は崖つづち先に進めない、迷ったと思ひ引き返すとテープが有り無事コースへ戻りましたが、陰しい下りが待っていました。岩を登り振り返ると物凄い岩の山、あんな所から下りたのか皆が驚く岩山でした。次は針の耳(折り重なった岩の穴)を通り谷を登った先に津波戸山水月寺奥之院という場所に着きます。岩の中から「仁門の硯石水」アルミの寸胴にチョロチョロと流れており手前には坐禅石と書かれたパネルが有りました。ここは修行の場だったのでしょう。そこから10分ほど登ると広い稜線に出て頂上まですぐでした。頂上は今まで通ってきた荒々しい岩稜とは違い、どこにでも有る低山のとっぺんという感じでした。その少し下った所の展望所からは雲にかかった由布岳と鶴見岳が見えます。昼食をとり下山開始、登った谷を下り直進と右へ登る道が有り、右へ登る方を選択、少し登ると又岩稜地帯に入り、再度楽しいコースを辿りとても529mの低山だとは思えないスリルを味わいました。(N川)</p> <p>2014年以来2回目の津和戸山は少し忘れているところもありましたが、達者な3人に助けられながら楽しみました。(秋山)</p>			

